

令和5年度大津市健康おおつ21（第2次計画）推進会議 会議結果

1. 開催日時

令和5（2023）年11月16日（木曜日） 14時00分～15時00分

2. 開催場所

大津市保健所 大会議室 及び WEB会議システムによるハイブリット会議

3. 会議委員

出席者：奥山委員、尾辻委員、門田委員、小金澤委員、清水委員、中村委員

欠席者：橋本委員、藤木委員、山本委員、若吉委員

4. 議題

- (1) 健康おおつ21（第2次計画）推進事業の進捗状況について
- (2) 次期計画策定について
- (3) 市民の健康づくりに関する意見交換等

5. 会議概要

(1) 開会

事務局 委員の出席確認及び資料の確認

(2) あいさつ

大津市保健所 中村所長

(3) 議題

ア 健康おおつ21（第2次計画）推進事業の進捗状況について

イ 次期計画策定について

- ・事務局より説明 資料1、資料2、資料2-1
- ・欠席者の意見紹介

事務局

若吉委員からの意見について、2つご紹介致します。

子どもの朝食欠食について、小学校では1クラス当たり1人や2人、中学校では2、3人が朝食欠食の可能性があると考えられます。これについてはぜひ教育委員会との連携をとられ、何らかの解決策を検討していただきたいと存じます。

また74ページ、運動習慣の部分につきまして、20歳から64歳の運動習慣の割合ですが、ぜひ50%に設定していただきたいと思います。特に50代からの運動習慣を身につけ体力維持向上を図っておくことが高齢者に向けては重要かと考えます。

とご意見いただいておりますので、また事務局の方で検討し、参考にさせていただきたいと思っております。

・発言内容	
小金澤委員	健康寿命の部分について、滋賀県と大津市の健康寿命の値が、国と随分違いますが、集計方法が異なるなど、何か要因があるのでしょうか。
事務局	資料2の24ページに平均寿命と健康寿命の状況について記載しております。こちらの注釈に記載しておりますが、大津市と滋賀県の健康寿命は、日常生活動作が自立している期間の平均（客観的指標）としており、介護保険の要介護度を用いて健康寿命を算出している数値となっております。国の健康寿命は、日常生活に制限のない期間の平均（主観的指標）としており、国民生活基礎調査の回答を元に算出している数値となっております。そのため、国の値と大津市と県の値に差が出ております。
小金澤委員	要介護度を用いてということですが、ハイリスクアプローチの対象者も含まれているのでしょうか？
事務局	全市民のうち、介護度が要介護2以上の方が不健康となります。
奥山委員	資料2の38ページ、食塩摂取量について全体的に高いのですが、高齢者の方が特に食塩摂取量が高くなっていますが、何か要因がわかれば教えていただければ助かります。
事務局	要因について、今お示しできるものはありませんが、高齢者の特徴の一つとして味がわかりにくくなるといったこともありますので、そういったことも影響していることも考えられます。高齢者の食塩摂取量が高くなっていることについて、事業の中に取り入れていきたいと思っております。
奥山委員	フレイルにより、あまり食べられないという人が増えている中、塩分は摂りすぎているのですね。
事務局	高齢者は下肢筋力の低下などの問題もあり、近くのコンビニなどで惣菜や味の濃いものを買っているというようなことも影響しているのかもしれませんが。現状や課題を踏まえ、出来ることがあれば施策としてつなげていけたらいいと思っております。
小金澤委員	高齢者の食も、もう少し何か出していただいてもよいのではないかと思います。食の考え方として、今までは麻痺があるなど喉の機能が悪くて食べられないということが多かったのですが、ここ数年は認知症により食べないという方があり、食べないからさらに喉の機能が悪くなっていくという方が出てきているように思います。高齢者が多くなってきておりますので、高齢者さんの食についても、何かご検討いただくと嬉しいと思います。
清水会長	実際、高齢者に関して私も関わらせていただいておりますが、食べられなくなった時点で、訪問して欲しいという依頼が来ています。少し食べにくくなってきた時など、食べられなくなる前に、口の運動や飲み込みの方法といった食べる方法についての指導ができればよいと思っております。
事務局	高齢者の口腔の問題と栄養の問題というのは非常に関連するものがありまして、市で行っている健康いきいき講座は、サロンに呼んでいただき、その中で、フレイルチェックやオーラルフレイルチェックを行い、口腔機能や全身の

	<p>フレイルが進んでないかということをチェックさせていただいております。リスクのある方には、その後電話相談などもしております。また、希望がありましたら、口腔機能低下予防事業のプログラムにもつないでおります。これは、歯科衛生士が訪問に行き、6か月間指導するようなプログラムとなっております。</p> <p>栄養について、生活習慣病予防として塩分摂取を減らすことや野菜から食べようといった取組がありますが、高齢になりますと食事量自体が減っていきますので、そういった低栄養の啓発も大事になってくるかと思っております。現在、龍谷大学の学生さんにレシピを考えていただき、そのレシピの啓発も行っております。また今後も引き続き、高齢者の低栄養や口腔機能の低下予防について積極的にアプローチしていきたいと考えております。</p>
小金澤委員	<p>うちの診療所にも、その事業から来られている患者さんもおられます。高齢者が集まる場所がコロナの間になくなり、今までは敬老会などいろんな活動されていたところが取り止めとなっているところも多く、物は配るけれど集まる機会がないといった町の様子があります。</p> <p>敬老会などで何十人も人が集まっている所に行き、声の出し方などをよく観察させてもらっていたのですが、その機会がなくなっています。</p> <p>もっと残念なことが、マスクで口元が隠れていたのが、入れ歯が壊れても歯が抜けていても平気なことです。唾液にも関わってきます。噛めなくなった人が、アフターコロナになり、歯を入れてくださいと慌ててくることがあります。アフターコロナとして、高齢者の口腔ケアなどの取組も進めていただきたい。高齢者は特に新型コロナ感染の感染拡大の影響により活動がかなり落ちているので、そのあたりもやっていただきたいと思っております。</p>
奥山委員	<p>健康おおつ21全体で、大津市が他の自治体と比べて何か飛びぬけているなどの特色はありますか？教えていただければ、市民にも伝えられると思っておりますので、ぜひ教えてください。</p>
事務局	<p>本日の資料にはございませんが、国と県と市の比較をみますと、運動習慣者の割合に関して、大津市は評価がA、県はB、国はDやCとなり、運動習慣がある方が比較的多くなっております。</p> <p>脂質異常症に関して、大津市と県はA、国がCとなっておりますので、そのあたりの生活習慣病に関しても一部良いというところがございます。</p> <p>一つの項目がよかったからといって、全体の疾患の減少につながるかはわかりませんが、まずは、市民が受け入れやすい部分から受け入れてもらうということも大事かと思っております。今後比較して良いところはさらに伸ばすという形で対応して参りたいと思っております。</p>

ウ 市民の健康づくりに関する意見交換等

・発言内容

小金澤委員	<p>運動習慣について、大石には大きな公園がたくさんあり、高齢者さんがグランドゴルフを非常に盛んにしておられ、週に3、4回参加している方も多くなっています。</p>
-------	--

	これは大津市全体でも多いのでしょうか。仲間も出来、お茶も飲み、しゃべることもでき、良い習慣と思います。
事務局	大石は、グランドゴルフを盛んにされています。レクリエーション協会の取り組みとして、ニュースポーツなどの取り組みが進められています。ニュースポーツを通じて、高齢者の方が参加することにより、健康増進に繋がるのではないかと考えております。
小金澤委員	他の地域の状況とかはあまりわからないでしょうか。
事務局	グランドゴルフは明日都浜大津の周辺や伊香立などにも出来ていると思いますが、実際に各地区にどれだけあるのかについて、現在手元に資料がございません。
門田委員	大津市の運動への取組の達成率がよいと思い、拝見しておりました。 市民の方々は、おそらく運動へのイベントや学ぶ機会は参加率も高く、そういったグループ活動やNPO活動も多いのではないかと推測しています。運動イベントの際に、課題であった栄養や食生活に関して、食に関するリーフレットを配布するといった工夫もいいのではないかと思います。 食に関しては、健康推進員さんなど取り組みを進める方がたくさんいらっしゃるのので、運動のイベントの情報が入った場合に、食に取り組んでいるNPOの方々に声をかけ、横の繋がりを作っていくのも、有用ではないかと感じました。 先日、健康イベントの時に、歯のブースの横で脳卒中の啓発イベントをしました。歯のブースは、親子さんやお孫さん連れの方々がたくさん来られますので、お子さんが歯のイベントに参加している間に、親御さんに脳卒中の周知・啓発をするというような便乗型の方法をとりました。そういった風に、運動に少し食事も便乗するというような形で啓発していくのもよいのではないかと思います。
尾辻委員	運動をきっかけに健康づくりにつなげていったらよいのではないかと思います。 地域の基盤が弱くなり、老人会に入る人が減っているのですが、老人会に入っていないとグランドゴルフに出られないから、老人会に入ったという人もいます。そういったところも、運動とかつなげていったらいいかなと思います。65～75歳位までの人は、グランドゴルフより、昔野球していたから野球する、というようなグループも結構あります。よく運動する人は、将来少しでも長く運動したいという気持ちは大きいと思いますので、そういうことをきっかけに、地域の基盤を作っていくというのは、大事ではないかと思います。福祉委員さんがやめた後、次やってくれる人がいないという地域もありますので、地域づくりのきっかけになればいいかなと思いました。
尾辻委員	それでは、本日の議事はすべて終了いたします。 委員の皆様には、議事進行に協力いただきありがとうございました。 また、事務局におかれましては、本日の議論を踏まえて、各委員からの委員を十分に反映させながら事業及び次期計画策定を進めていただきますようお願いしまして、本日の議事を閉じさせていただきます。

イ 閉会
事務局

尾辻委員には議事の進行を務めいただきまして、ありがとうございました。
また、委員の皆様にはお忙しい中、長時間にわたりまして、熱心にご協議いただきまして、ありがとうございました。

以上をもちまして令和5年度大津市健康おおつ21（第2次計画）推進会議を終了させていただきます。

本日は誠にありがとうございました。